

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	1	課題区分	C	令和3年(2021年)3月 31日
横断的な課題	1 令和元年東日本台風(台風第19号)災害からの復旧・復興					
地域重点政策	—					上田地域振興局
実施機関	上田保健福祉事務所			担当課	所属	健康づくり支援課
事業名	被災者のこころのケア支援【新規】				電話	0268-25-7149
				E-mail	uedaho-kenko@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要	目的 (目指す姿)	こころのケア担当者の支援技術の向上を図り、地域住民が心穏やかに生活できる環境を整備する。				
	現状と課題	令和元年東日本台風の被災者にとって令和2年度は、「災害時こころのケア(長野県精神保健福祉センター刊)」によると、「発災後中長期に至ると回復の2極分化やPTSD等の遷延化」がみられる時期となる。 被害地区としての経過を踏まえ、より専門性の高い面接・訪問対応や専門職への紹介がタイムリーに行えなければならない。 また、新型コロナウイルス感染症に関連した様々な不安や悩みから心身の健康が損なわれることがないよう相談窓口の周知徹底が必要。				
	内容 (変更後の内容)	1 啓発リーフレットの配布 悩みを抱えながらも地域の支援が届きにくい働き盛り世代のこころのケアを図るため、メンタルヘルス及びこころの相談に関するリーフレットを作成、配布する。				
	事業期間	令和2(2020)年12月		～	令和3(2021)年3月	
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考		
	啓発リーフレットの配布	リーフレット作成、配布	66,000	作成部数	2,000部	
	合計		66,000			
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況	
	啓発リーフレットの関係機関への配布		465機関	0機関	○ 達成	
					○ 一部達成	
					● 未達成	
事業実績・成果	○リーフレット「働く人のこころの相談のしおり」を3月に2000部作成した。新型コロナウイルス感染症への対応により、事業期間中に配布することができなかったため、令和3年5月中に配布する予定である。 ○掲載情報は、従来からのメンタル面での不調、自殺予防に加え、新たに新型コロナウイルス感染症に関する相談先を盛り込むとともに、様々な悩みや不安等を抱えた者を家族や同僚が早期に気づき相談先へつなげられる内容となるよう配慮した。 ○悩みや不安の要因は、複雑に絡みあうことが多いことから、相談先を系統的にまとめた本紙を活用することで、相談者を適切な相談先につなげることが期待できる。					
今後の方向性	相談先の周知により、相談の増加が想定されることから新型コロナウイルス感染症の発生状況をみながら、保健所における相談業務を継続する。					